

# 第 53 期計算書類

〔 平成 28 年 4 月 1 日 から  
平成 29 年 3 月 31 日 まで 〕

株式会社アグレックス

# 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>8,275,180</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,217,351</b>
現金及び預金	1,905,772	買掛金	643,154
受取手形	80,116	リース債務	123,947
売掛金	4,193,171	未払金	86,334
有価証券	100,000	未払費用	1,181,201
仕掛品	274,306	未払法人税等	285,364
原材料及び貯蔵品	39,662	未払消費税等	276,663
前払費用	366,991	前受金	336,317
繰延税金資産	559,175	預り金	73,693
未収入金	65,675	短期借入金	1,872,400
立替金	49,960	賞与引当金	1,337,274
短期貸付金	638,000	製品保証引当金	1,000
その他	7,368	<b>固定負債</b>	<b>1,905,552</b>
貸倒引当金	△5,020	長期借入金	895,400
<b>固定資産</b>	<b>8,448,241</b>	リース債務	196,141
<b>有形固定資産</b>	<b>1,164,780</b>	退職給付引当金	750,549
建物	309,911	長期未払金	63,460
構築物	792	<b>負債合計</b>	<b>8,122,903</b>
機械及び装置	71,396	<b>純資産の部</b>	
工具、器具及び備品	286,237	<b>株主資本</b>	
土地	205,976	資本金	1,292,192
リース資産	290,464	資本剰余金	1,493,807
<b>無形固定資産</b>	<b>389,916</b>	資本準備金	1,493,807
ソフトウェア	275,144	利益剰余金	5,784,411
ソフトウェア仮勘定	99,773	利益準備金	71,450
電話加入権	14,998	その他利益剰余金	5,712,961
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,893,544</b>	別途積立金	4,420,000
投資有価証券	1,100,551	繰越利益剰余金	1,292,961
関係会社株式	4,250,711	<b>株主資本合計</b>	<b>8,570,411</b>
関係会社出資金	42,519	<b>評価・換算差額等</b>	
長期前払費用	37,227	その他有価証券評価差額金	30,106
敷金及び保証金	970,047	<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>30,106</b>
繰延税金資産	314,315	<b>純資産合計</b>	<b>8,600,518</b>
その他	178,804	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>16,723,422</b>
貸倒引当金	△631		
<b>資産合計</b>	<b>16,723,422</b>		

# 損益計算書

(平成28年4月1日から)  
(平成29年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	28,372,951
売 上 原 価	23,643,785
売 上 総 利 益	4,729,166
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,713,055
営 業 利 益	1,016,110
営 業 外 収 益	396,364
受 取 利 息 及 び 配 当 金	349,477
そ の 他	46,887
営 業 外 費 用	41,708
支 払 利 息	24,960
そ の 他	16,748
経 常 利 益	1,370,766
特 別 損 失	93,907
固 定 資 産 除 却 損	71,786
投 資 有 価 証 券 評 価 損	19,421
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	2,700
税 引 前 当 期 純 利 益	1,276,859
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	346,000
法 人 税 等 調 整 額	△44,078
当 期 純 利 益	974,937

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

① 子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法

② その他有価証券

・時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

・時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

なお、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

③ たな卸資産

・仕掛品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

・貯蔵品

最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

（リース資産を除く）

（会計方針の変更）

当社は、建物（附属設備を除く）及びリース資産を除く有形固定資産の減価償却方法については、従来主として定率法を採用していましたが、当期より定額法に変更しております。

親会社であるTIS株式会社は、前期より、安定的な収益をもたらすクラウドサービス事業に関連する資産の重要性がさらに高まる見通しであることから、設備の使用実態をより適切に反映させる減価償却方法を検討した結果、使用期間にわたり費用を均等に負担することが合理的であり、経営の実態をより適切に表現するものと判断し、定額法に変更しております。

当社においても将来のセンター集約化を機に保有資産を見直した結果、一定期間安定的に使用される資産が大部分を占めており、減価償却費の期間按分を平準化できる定額法がより経営の実態を適切に表していると判断したため、定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当期の減価償却費は、49百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ49百万円増加しています。

- ② 無形固定資産  
(リース資産を除く) 定額法を採用しております。  
ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法、市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売数量に基づく償却額と見込有効期間(3年)に基づく均等配分額とを比較し、いずれか大きい額を償却する方法を採用しております。
- ③ リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- (3) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金 債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。
- ③ 製品保証引当金 プログラムの無償補修費用の支出に備えるため、過去の実績に基づく将来発生見込額を計上しております。
- ④ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき発生していると認められる額を計上しております。
- (4) 重要な収益及び費用の計上基準
- 受注制作のソフトウェア取引に係る売上高及び売上原価の計上基準
- イ. 当事業年度末までの進捗部分 進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)  
について成果の確実性が認められるソフトウェア取引
- ロ. その他のソフトウェア取引 完成基準
- (5) その他計算書類作成のための基本となる事項
- 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 2,150,785千円
- (2) 以下の関係会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。  
AGREX (Vietnam) Co., Ltd. 36,470千円
- (3) 関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。
- ① 短期金銭債権 1,033,593千円
- ② 短期金銭債務 1,591,170千円

### 3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

① 売上高	1,931,424千円
② 営業費用	808,919千円
営業取引以外の取引高	322,601千円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
A種種類株式	26株	一株	一株	26株

#### (2) 剰余金の配当に関する事項

##### ①当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

イ. 平成28年6月16日開催の第52回定時株主総会決議による配当に関する事項

A種種類株式の配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 121,310千円
- ・ 1株当たり配当額 4,665,793.75円
- ・ 基準日 平成28年3月31日
- ・ 効力発生日 平成28年6月17日

ロ. 平成28年10月27日開催の取締役会決議による配当に関する事項

A種種類株式の配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 148,258千円
- ・ 1株当たり配当額 5,702,259.61円
- ・ 基準日 平成28年9月30日
- ・ 効力発生日 平成28年11月30日

##### ②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度になるもの

平成29年6月15日開催の第53回定時株主総会において次のとおり付議いたします。

A種種類株式の配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 194,827千円
- ・ 1株当たり配当額 7,493,382.71円
- ・ 基準日 平成29年3月31日
- ・ 効力発生日 平成29年6月16日

## 5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産

賞与引当金	412,682千円
未払事業税否認額	43,202千円
未払事業所税否認額	10,894千円
退職給付引当金	229,818千円
少額減価償却資産償却超過額	10,128千円
その他有価証券評価差額金	△13,287千円
長期未払金否認額	19,431千円
未払費用否認額	62,354千円
関係会社株式等評価損否認額	213,785千円
その他	98,266千円
小計	1,087,276千円
評価性引当額	△213,785千円
繰延税金資産合計	873,491千円

## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取組方針

当社は、短期的な運転資金を銀行借入により調達しております。また、一時的な余資については社内の資金運用管理基準に従い、安全性の高い金融資産等で運用しております。

#### ② 金融商品の内容及びリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されていますが、そのほとんどが数ヶ月以内に回収されているため、そのリスクは限定的です。

有価証券及び投資有価証券は、市場価格の変動リスクに晒されていますが、四半期毎に株式の時価や財務状況等を確認し、定期的に保有継続について検討を行っております。

敷金及び保証金は、建物等の賃貸借契約に係るものであり、差し入れ先の信用リスクに晒されていますが、差し入れ先の信用状況を定期的に把握することを通じて、リスクの軽減を図っております。

営業債務である買掛金、未払費用は、そのほとんどが1年以内の支払期日です。

#### ③ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成29年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません。(注2)参照)

	貸借対照表計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
① 現金及び預金	1,905,772	1,905,772	—
② 受取手形及び売掛金	4,273,287	4,273,287	—
③ 有価証券及び投資有価証券	1,082,783	1,082,783	—
④ 敷金及び保証金	970,047	963,571	△6,475
資産計	8,231,891	8,225,416	△6,475
① 買掛金	643,154	643,154	—
② 未払費用	1,181,201	1,181,201	—
③ 短期借入金	1,470,000	1,470,000	—
④ 長期借入金(1年内返済長期借入金含む)	1,297,800	1,321,487	23,687
負債計	4,592,156	4,615,844	23,687

(注1)金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

①現金及び預金、②受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

③有価証券及び投資有価証券

これらの時価については、株式は取引所の価格によっており、債券等は取引金融機関から提示された価格によっております。

④敷金及び保証金

これらの時価については、将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に基づく利率で割り引いた現在価値によっております。



## 負債

### ①買掛金、②未払費用、③短期借入金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

### ④長期借入金

これらの時価については、元金利の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額 (千円)
非上場株式	24,274
投資事業有限責任組合出資金	93,493

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「③ 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

## 7. 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 親会社

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	T I S 株 式 会 社	(被所有) 100.0	資金の貸付 BPO業務及び SI業務の受託等 役員の兼任	資金の貸付	300,000	短期貸付金	-
				資金返済	300,000		
				BPO業務及び SI業務の受託	1,825,654	売掛金	316,375

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

TIS株式会社に対する資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を決定しております。

BPO業務及びSI業務の受託については、市場価格等を勘案し、価格交渉の上、決定しております。

### (2) 子会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引額(千円)	科目	期末残高(千円)
子会社	A C メ デ ィ カ ル 株 式 会 社	100.0	資金の貸付 BPO業務の受託 役員の兼任等	資金の貸付	-	短期貸付金	450,000
子会社	アグレックスファイ ンテクノ株式会社	100.0	資金の借入 S I 業 務 の 受 委 託	資金の借入	-	短期借入金	320,000
子会社	登録管理ネットワーク 株 式 会 社	100.0	資金の借入 BPO業務の受託	資金の借入	-	短期借入金	600,000
子会社	株 式 会 社 興 伸	100.0	資金の借入 B P O 業 務 受 委 託 役 員 の 兼 任 等	資金の借入	-	短期借入金	550,000
子会社	株 式 会 社 マ イ ク ロ メ イ ツ	100.0	資金の貸付 SI業務の受委託 役員の兼任等	資金の貸付	-	短期貸付金	165,000

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

当社グループでは、グループ内の資金を一元管理するキャッシュ・マネジメント・システムを導入しているため、資金の貸付及び借入について、取引金額は記載しておりません。

なお、金利については市場金利を勘案して決定しております。

**8. 1株当たり情報に関する注記**

(1) 1株当たり純資産額	330,789,172円77銭
(2) 1株当たり当期純利益	37,497,596円42銭

**9. 重要な後発事象に関する注記**

該当事項はありません。

**10. 連結配当規制適用会社に関する注記**

該当事項はありません。

**11. その他の注記**

該当事項はありません。

(注) 計算書類の記載金額は千円未満の端数を切り捨てております。